

# 錦江台校区

福祉だより

各町内会班数配布  
錦江台校区福祉だより  
錦江台校区社会福祉協議会  
会長 森山秀久  
電話 262-0766  
発行日 令和4年3月1日

◎この校区社協だよりは、赤い羽根共同募金会の助成を受けて発行しています。

## 新型コロナウイルス禍での年末年始

錦江台校区社協 会長 森山秀久

2年つづきのコロナ禍での正月を迎える皆さんごきげん如何でしょうか?

東京 大阪 沖縄と遠路から帰郷された方も多いと思いますが、その中には若干の不安と家族との出会いの喜びが入り混じって複雑な心境だったのではと推測します。

アルファ・ベータ・ガンマ・デルタ・オミクロン株が5つの段階でそれぞれウイルスを長期間まき散らし人々の心は疲弊してしまいそう、それでも私たち日本人は辛抱強くまじめに3密を避け検温 マスク 換気を忠実に実施し感染拡大をある程度まで防止することが出来ました。しかし感染力の強いオミクロン株がヨーロッパ アメリカ インド イスラエルなどで大きく広がっており空港や軍基地を経由して日本にも影響を与えています。

正月前後の人流拡大や車の往来増など飲酒の機会も多くなっており1月中旬から2月下旬までコロナの動向が気になるところです。

いずれにしても我々は基本をしっかりと守り、コロナ対策に手抜きしないことが必要不可欠です。

## コロナ禍での門松づくり

(通常の1/3に縮小して実施)

参加者  
あいご会(32名)——親子  
53名  
社協(21名)——社協 町内会 民生委員 オープン参加



## コロナ禍での高齢者訪問

安全杖のお届け



年末お見舞いお届け



## コロナ禍の小学校は今

錦江台小学校長 尾塚 浩明

2020年3月27日、県は鹿児島で初めてとなるコロナ陽性患者が確認されたことを発表しました。それから約2年、私たちの生活においてマスクは手放せないものになってしましました。あの頃は、数ヶ月もすれば収束するだろうぐらいの認識でしたが、ここまで長引き、私たちの生活を一変させることになるとは想定外でした。

この間、学校では学校行事やPTA行事等を中止にしたり、人数や時間を制限したりして感染防止に努めてきました。

また、まん延防止等重点措置が適用された現在では、以下のような取組をしています。

- ① 児童は毎朝検温し、体調チェックカードを記録して登校する。
- ② 登校したらマスクをしっかりつけ、手洗いをしてから教室に入る。
- ③ 授業は5分短縮し、代わりに手洗いの時間を長めに確保する。
- ④ 授業中は、常時換気をするため、防寒着を着用して学習する。
- ⑤ 給食は、グループをつくらず、黙食とする。
- ⑥ 感染のリスクが高い活動は中止する。



これらは、取組の一部ですが、体温チェックをはじめ、体調がすぐれなかつたり、家族に発熱等がある場合も念のため休んだりするなど、各家庭のご理解やご協力を借りながら、学校の教育活動は維持できています。

しかし、感染力の強いオミクロン株は、いつ・だれが感染してもおかしくない状況です。感染した児童や濃厚接触者が誹謗中傷にさらされないよう人権教育にも力を入れて取り組んでいます。

幸いなことに、このような状況下でも子供たちは、ボランティア活動推進校として、様々なボランティア活動や福祉についての学びを進めています。



【校外募金活動】



【福祉についてのお話 & 車椅子体験】

これからも錦江台の子どもたちが笑顔になれる学校・地域を保護者や地域の皆様と一緒に作っていきたいと思っています。皆様のご理解、ご協力をよろしくお願ひいたします。